

民族という視点から 人類のダイナミズムを描く 新しい世界史

アメリカにおける白人至上主義者と反対派の衝突、中東諸国を揺るがすクルド人問題、ロヒンギャ族難民をめぐる宗教対立……

世界中で起こっている、「民族問題」に根ざした紛争や対立。かつて人類が経験した戦争や動乱もまた、その多くが民族問題と無関係ではない。すなわち世界史とは、多様な民族が経験した衝突と融合の軌跡に他ならない。

そうした世界の歴史を人種や血統・民族という視点から見つめ直し、人類のダイナミズムを描くことで、年代を追うだけの「味気ない世界史」ではわからなかった人類の本質が見えてくる。

『教養として知っておきたい 「民族」で読み解く世界史』

宇山卓栄

教養として知っておきたい

「民族」で 読み解く 世界史

宇山卓栄



ロヒンギャ族難民、白人優位主義、ナショナリズム……世界は、いま「民族」でいがみ合っている

人種・血統を通じて
人類のダイナミズムを描く
新しい世界史!